

長七郎山山行報告

【山行日】2020年1月26(日)曇り後晴

【集合】岩舟支所P AM 7:00

【費用】マイカー1台 : 1,200円

【メンバー】CL:鈴木、SL松館、
石澤、齊藤、清水、関、福島

【コースタイム】岩舟支所P7:00=赤城公園ビ
ジターセンター8:45/9:10~鳥居峠 9:30/9:40

~小地藏岳 10:20/10:30~長七郎山

10:50/11:10~小沼平 11:40/11:50~地藏岳

12:10/12:50~八丁峠 13:10~赤城公園ビ

ジターセンター13:40/14:00~あいのやまの湯

14:35/14:50=岩舟支所P16:15



入笠山でスノーシューの計画だったが今年も雪不足で中止し、赤城の長七郎山へ計画を変更した。赤城公園ビジターセンターの開館時間に合わせ、7時に岩舟支所を出発する。ビジターセンター駐



車場に8:45に着き、出発の準備をしていると9時に開館した。トイレを済ませストレッチを行ってから出発する。道路を渡って覚満淵に向かい、覚満淵の木道でスノーシューを付ける。やはり例年よりだいぶ雪が少なく、覚満淵の中を縦断して歩けない。木道の上を歩いて行くと、所々雪が途切れとても歩きにくい。鳥居峠のベンチに着いたらスノーシューを点検し、衣服調整をして小沼に向かう。スノーシューの歩き方を指導しながら小地藏岳の北側を巻くように緩やかに登り、

少し下ってから登り返すと小沼の縁の分岐に出る。分岐を左に進み九十九折れの道を登ると、小地

蔵岳入口の分岐となる。分岐を左に戻るように

に進み、自然林の道をわずかに登ると小地

蔵岳山頂に着く。山頂は樹林の中に小さな

標識があるだけだが、落葉した木々の合間

から谷川連峰が真白く輝いて見えた。

ここから分岐まで戻り、左に長七郎山へ向か

う。ここからの尾根歩きはなだらかな斜面で

景色が良く、コース一番の楽しく歩ける尾根

である。風も無く穏やかな日和に恵まれ、初

めての人たちも「楽しい」とご満悦の様子。

長七郎山への登りになると、東側の斜面に

張り出した雪庇の上を歩き、雪山を歩く気分を満喫できる。



間もなく長七郎山頂に着き、なだらかで広々とした山頂から黒檜山と地藏岳の間に上越の真白い



山々が望める。皆さん素晴らしい眺望に感動し、写真を撮りまくっていた。展望を楽しんだら山頂を後にし、西側の斜面を小沼に向かって下る。広くなだらかな斜面はスノーシューにうってつけて、ビギナーでも楽しく下れるコースだ。途中、一箇所急な段差がありコケた人もいたが、特に危険な場所は無く小沼まで下れる。氷結した小沼の雪原を歩いて横断できるが、大人数なので小沼の縁の道を歩いて行く。道路まで上がり時間が早いので「地藏岳に登りたい人？」と聞くと、全員が「登りたいです」と

の返事で登ってから昼食にする。雪が少ないのでスノーシューをアイゼンに履き替え、スノーシューをザックに付けて登る。八丁峠から地藏岳の登山道に入り、雪が付いた木段を一步一步登って行く。今までと違い急な登りに息を切らせながら山頂に登り着く。山頂からはさえぎる物が無い絶景が楽しめ、皆さんが「登って来て良かった！！」と大感動。尾瀬の燧ヶ岳から上州武尊山、谷川連峰から仙ノ倉山、平標山等々大パノラマを堪能出来た。山頂の日当たりが良い場所に陣取り、お湯を沸かしてランチタイム。カップ麺やスープとおにぎりをいただき、体の中からも温まる。昼食が済んだらもう一度山頂からの眺望を楽しみ、記念写真を撮って下山する。



下山は来た道を八丁峠まで戻り、峠から北に下ってスキー場の脇から道路に出る。道路を右に進み数分歩くと赤城公園ビジターセンターに着く。靴を履き替えトイレを済ませたら、ビジターセンターの休憩所でティータイム。管理人の方がストーブを点けてくれ、山で食べなかったシュークリームやブッセ、カステラ等を食べながらお茶会をして帰路につく。途中、あいのやまの湯の直売所に寄り、キノコや野菜、こんにゃく等買い物し無事岩舟支所に帰着した。

